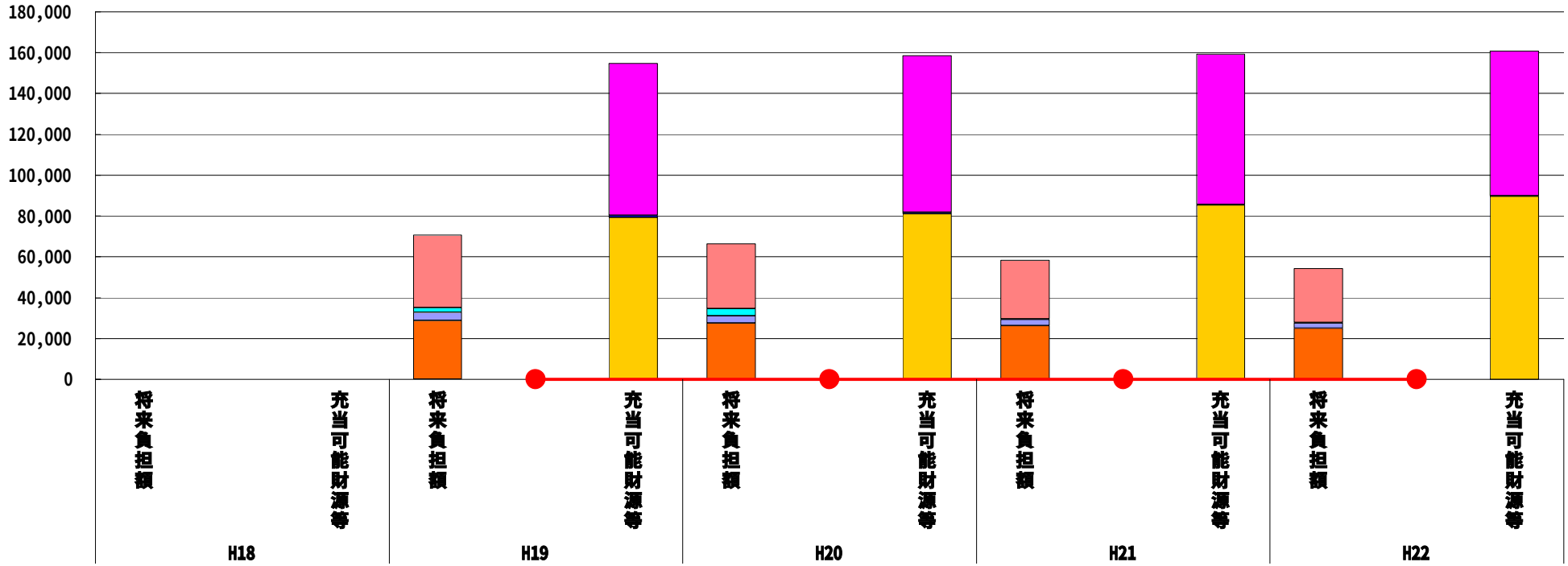
（8）将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成22年度

東京都品川区

（百万円）



（百万円）

分子の構造 ＼ 年度		H18	H19	H20	H21	H22
将来負担額(A)	一般会計等に係る地方債の現在高	-	35,565	31,656	28,797	26,508
	債務負担行為に基づく支出予定額	-	2,261	3,622	250	321
	公営企業債等繰入見込額	-	-	-	-	-
	組合等負担等見込額	-	3,913	3,420	2,947	2,469
	退職手当負担見込額	-	28,870	27,622	26,251	24,996
	設立法人等の負債額等負担見込額	-	4	3	-	-
	連結実質赤字額	-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-	-
充当可能財源等(B)	充当可能基金	-	74,649	76,858	73,602	70,925
	充当可能特定歳入	-	851	554	321	153
	基準財政需要額算入見込額	-	79,355	81,162	85,387	89,681
(A)－(B)	将来負担比率の分子	-	▲ 84,242	▲ 92,251	▲ 101,064	▲ 106,464

分析欄

将来負担額で大きな割合を占める地方債の現在高は、これまでの起債抑制策により、継続して減少している。

また、団塊世代の退職が進みつつあることから、退職手当負担見込額も減少しており、将来負担額は一貫して減少傾向にある。

一方、充当可能財源等については充当可能基金が減少傾向にあるものの、全体としては継続して将来負担額を上回っており、財政の健全性を維持している。これからも引き続き適正な財政運営に努める。

（本比率は、平成19年度より開始）

※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。